

# オフィスビル等の敷地内に埋設された白ガス管の更新について

一般社団法人 日本ガス協会 技術部 経年埋設内管対策推進センター

## 1 はじめに

オフィスビル等の敷地内に埋設されているガス管のうち、昭和50年代ごろに埋設された古いガス管は、年数の経過や土壌環境等の影響により、腐食が進んでいる可能性があります。

この古いガス管は、鋼管の周りに亜鉛メッキによる防食措置を施した管（以下、白ガス管と示します）で、強度、耐食性、施工性等に優れたガス配管材料として、昭和20年代ごろから一般的に使用されてきました。

しかしながら、その後、白ガス管は、長年の間、土中に埋設された状態では、水分や土中の酸素等の影響により、徐々に腐食が進むことが明らかになつてきました。そのような状況を踏まえ、平成8年にガス事業法令が改正され、現在は、白ガス管を新規に土中へ埋設して設置することは、禁止されています。なお、白ガス管は、土中に埋設された状態では、腐食が進む可能性があります。

に腐食が進むことが明らかになつてきました。そのような状況を踏まえ、平成8年にガス

事業法令が改正され、現在は、白ガス管を新規に土中へ埋設して設置することは、禁止されています。

が、露出部においては、現在も耐食性の高いガス管として使用されています。

白ガス管のリスクは、仮に建物の床下の埋設部で、白ガス管の腐食によるガス漏れが大量に発生した場合、ガスの漏えいによる引火、爆発などの事故が発生する危険性があります。そのため、都市ガス事業者は、特に保安上重要な建物※<sup>1</sup>の土中に埋設された白

これまで多くのお客様に理解とご協力によって、数多くの土中に埋設された白ガス管が更新された一方で、現在においても、全国各地において、ガスの漏えいによる事故のリスクを回避できていない状況にあります。

そのため、経済産業省では、都市ガス保安のより一層の向上を目的として、土中に埋設された白ガス管を更新するための補助金事業が平成15年度より設立されています。お客様

の更新提案を行っています。

※<sup>1</sup> 主に不特定多数の方がご利用になる鉄筋、鉄骨系の建物が対象

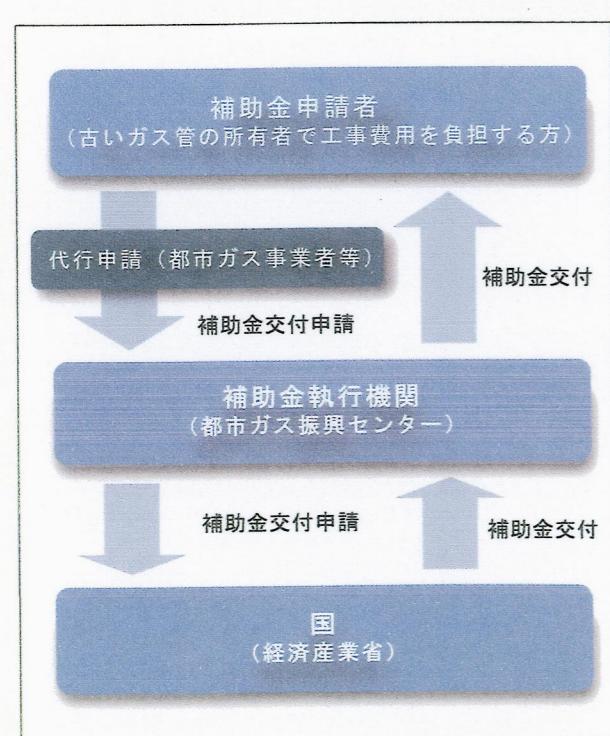
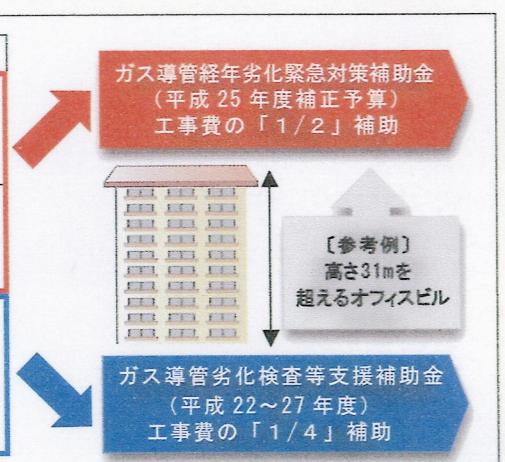
## 2 補助金事業の概要について

●補助金事業の概要  
補助金事業は、ガス事業区分の判定要素である「建物区分」においては、建物区分の高さ等により、適用される補助金事業が異なります。お客様が所有している建物へ適用される補助金事業の高さ等により、適用される補助金事業が異なります。

### ○補助金事業の概要

前述のとおり、経済産業省では、平成15年度より土中に埋設された白ガス管を更新するための補助金事業が設立されおりります。更に、この度、従来からの補助金事業「ガス導管劣化検査等支援補助金」に加え、補正予算「ガス導管経年劣化緊急対策補助金」が設立されました。

高さ31mを超えるオフィスビル等  
・高さ 60mを超える建物  
高層建物  
・高さ 31mを超える建物  
一般業務用建物  
・業務用途に利用される建物



- 埋設白ガス管の更新全般に関するお問合せ先  
一般社団法人 日本ガス協会 技術部  
経年埋設内管対策推進センター  
担当：林、鈴木 TEL：03-3502-0646（直通）
- 補助金事業の執行手続きに関するお問合せ先  
一般社団法人 都市ガス振興センター  
担当：澤村、吉田 TEL：03-3502-5597（直通）

問い合わせ先

ど、埋設白ガス管の更新全般に関しては、以下の「一般社団法人日本ガス協会 技術部 経年埋設内管対策推進センター」までお問い合わせください。

●補助金事業の流れ  
補助金事業の流れは、左図の通りとなります。補助金申請者は、都市ガス事業者等が補助金申請者の手続き代行者となり、国が定めた補助事業執行機関（都市ガス振興センター）を通して申し込むことができます。

なお、国機関や地方自治体等、公の組織は、補助金を受けることができません。補助金を受けることができる方は、民間の法人、区分所有建物の管理組合、個人のいずれかに限ります。補助金

事業の執行手続きに関しては、以下の「一般社団法人 都市ガス振興センター」までお問い合わせください。

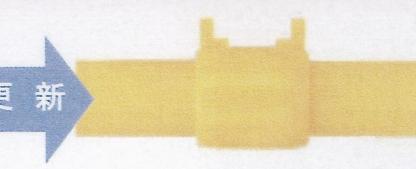
埋設前の白ガス管  
〔鋼管に亜鉛メッキを施した管〕



長期間の埋設により腐食した白ガス管



腐食に強く耐震性も高い  
ポリエチレン管



写真：土中に埋設された白ガス管の劣化とポリエチレンガス管への更新